



11月19日ほぼ皆既月食。本校グラウンドにて撮影

加悦谷 ニュースレター



KAYADANI

一人一人の可能性を伸ばす
加悦谷高等学校
宮津天橋高等学校
加悦谷学舎

vol.7(12月)

題字：書道部
細見 ひな (2年) 作

学校長からのメッセージ



『地域に学び、地域に貢献』
生徒一人一人の可能性を伸ばす

本校の教育目標の一つに、「伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成」があります。地域社会を守り受け継ぐ人材となるために、まずは自分たちが生まれ育った地域を知ることが大切です。地域を知るためには、地域の良さ、課題を自らの目で確かめ、考え、議論することが必要です。

課題解決に向けた学びには、「本物を知る」「本物に触れる」「本物に会う」「本物と話す」という4つの場面が大切となります。そのような観点から、本校では与謝野町をはじめ地域や大学等関係機関の力を借り、学びを深めていく取組を推進しています。今回のニュースレターでは、その取組の一端を紹介したいと思います。

本校生徒が、地域から学び、その学びをもとに様々な形で地域に貢献することを通して、急激に変化する時代の中、自らのよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるよう、引き続き、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育を推進していきます。

中学生のみなさん、本校で一緒に学びませんか。
保護者、地域、関係機関のみなさまには、今後とも、温かく見守り、御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

京都府立加悦谷高等学校長 藤田 浩

<教育目標>

- 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成
- 伝統と文化を尊重し、郷土を愛し、地域社会を守り受け継ぐ人材の育成
- 豊かで幸せな人生を送ることができるよう主体的に学び続ける人材の育成

【1年生】与謝野町役場の方々にインタビュー！

1年生は、総合的な探究の時間を活用して、自分の生きがいとなるものが何かを探究しています。その中で、自分の興味関心と社会のニーズがどのようにリンクしているかを探るために与謝野町の総合計画を題材に取り組みしています。インタビューは、与謝野町役場ならびに与謝野町教育委員会の職員の方々総勢14名をお招きし、御対応いただきました。



<役場職員にインタビューする生徒>

内容の理解を深めたことはもちろんですが、「自分の課題である目上の人との接し方を学ぶいい機会になった。」と、自分の能力を高める素晴らしい機会となりました。

生徒会長からのメッセージ



この度、生徒会長になった白数想です。私は、この学校を今よりさらに良い学校にしたいと思っています。今年新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭がなくなってしまったので、代わりに新たな行事を企画しようと考えています。文化祭のように、クラス全員が協力し合い、仲が深まるような行事をしたいです。また、前生徒会から引き続き、挨拶運動をしたいと思っています。全員が朝から明るく挨拶できることを目標にして取り組み、校内だけでなく、地域の方にも自分から挨拶できる生徒たちのいる学校にしたいです。そして、私がより充実させたい活動はユニセフへの支援活動です。支援活動と言えば、募金活動を想像しがちですが、実は古本やカレンダーを回収することによっても支援することができます。私たちにできることをして、少しでもユニセフへの支援活動に協力できたらいいなと思っています。他にもボランティア活動の促進などを進めて、より活気のある学校にしていきたいです。



京都府立加悦谷高校・宮津天橋高校加悦谷学舎
生徒会会長
白数 想

【2年生】織物の構造を理解する。



後地方は、織物の地域であることから、その文化に少しでも触れる取組を行っています。

2年生で服飾デザインを選択した生徒は、自分で布をデザインすることに挑戦しています。単に柄を考えるだけでなく、織物の布がどのようにしてできるのか、柄(組織)はどのようにしてできるのかを理解するために、手織り体験をしました。与謝野町内の織物技能訓練センターを訪問し、織物技術指導員 尾関 正巳 様と茂籠 龍一郎 様に御教授いただき、割き織と呼ばれる織物を体験させていただきました。

「力の加減によって、個性が出て、様々な布ができるのが面白く楽しかった。」
「横糸の通し方で組織が変わり、デザインを表現することが分かり、改めてすごい技術だと思いました。」
等の感想があり、織物の奥深さを体感していました。尾関様、茂籠様、御対応くださりありがとうございました！



<手織り体験をする生徒>

【3年生】三河内小学校とスポーツ交流を行いました。

ア

スリートスポーツコースの生徒は、毎年、与謝野町の小学生にトレーニング指導を行う「スポーツ交流」を実施しています。今年度初開催となるスポーツ交流は三河内小学校の5、6年生に対して、本校の体育館にて行いました。

緊急事態宣言などで自粛を求められ、身体を動かす機会が少なくなっている小学生に向けて、「走る」をテーマに、早く走るために必要なトレーニングを指導しました。準備運動、トレーニングそして柔軟体操をそれぞれ行い60分ほどのトレーニングを行いました。

限られた時間の中で、小学生たちに何をどのように伝えるか、身体を動かすことが苦手でも、「身体を動かすことは楽しいんだ！」ということを感じてもらい、楽しくトレーニングをしてもらうにはどうしたらいいか、などを考えながらスポーツ交流当日までに、何度もリハーサルを行い準備をしてきました。小学生の皆さんからは、「楽しかった！」、「来年もありますか？」、「またやりたい。」という声をたくさんいただきました。

また、小学校の先生方からは、「爽やかで元気があってハキハキしていて、『こんな風に育ってほしい』と児童たちに伝えるためのいいロールモデルとなってもらったので、今後児童たちにも、より伝えやすくなります。」とお褒めの言葉をいただきました。

教える生徒にとっては、実際にトレーニング指導をしたことで、リハーサルどおりにいかなかった時はメニューを変更する、伝え方を変える、という臨機応変さが求められることを体感、痛感する機会となりました。進行からメニューまですべて自分たちで考えて指導する、という初めての取組を無事終えることができ、達成感を感じていた一方で、「もっとよくなることができ

た。」という悔しさも感じており、スポーツ交流が終わってからすぐに反省会を行い、次のスポーツ交流に向けて改善点を洗い出していました。実際に行うからこそ気づくことがたくさんあり、生徒にとっては大きく成長することのできる機会となりました。三河内小学校児童の皆さん、教員の皆様、この度はお越しいただきありがとうございました！！



＜児童の柔軟体操のサポートをする生徒＞



＜児童たちと一緒に身体を動かす生徒＞

【2年生】大学の先生に講評いただきました。

2年生の総合的な探究の時間では、地域や社会で起こっている問題を題材に、興味関心のある事柄について探究しています。11月8日(月)、これまで調べてきたこと、実践してきたことを報告する中間発表を行いました。これまでは校内だけで行っていたが、学校外の方にも見ていただき、新たな発見や今後の方向性のアドバイスをいただくために、福知山公立大学 地域経営学部 准教授 杉岡 秀紀 様ならびに助教 佐藤 充 様にお越しいただきました。すべてのグループを御覧いただき、それぞれのグループにアドバイスやコメントをして頂きました。併せて、全体へも総評を行っていただきました。

ただ発表するだけでなく、指摘、アドバイスをいただいたことで、「発表した内容が浅いと感じた。」、「もっと情報が必要だということが分かった。」等、自分たちに足りない点に気づくことのできる機会となりました。



＜杉岡准教授にアドバイスをいただく生徒たち＞

【3年生】プロから天婦羅を伝授！

地域の食文化と豊かな産物について理解し、地域の食の魅力を感じるきっかけとすること、地域で活躍する料理人から直接指導を受けることで、技術力や料理の楽しさを学ぶことを目的に、フードデザインの授業にて、11月24日(水)、ダンデライオンカフェ 店主 岸本 譲 様を講師にお招きし、鯛の姿造りの実演と天婦羅の実習を行っていただきました。鯛は、学校の三徳包丁を用いて造っていただき、家庭の調理器具でも十分見栄えのよい魚料理ができることを示していただきました。



＜天婦羅のエビの剥き方を教えてもらう生徒＞

その後、天婦羅のつくり方を教えていただきました。見栄えのする野菜の切り方や盛り付け方も教えていただき、「難しい！」と言いながらも楽しく調理をし、美味しくいただきました。

今、加悦谷がNEW TYPE

生徒たちの学校生活なども更新中！Web サイトもご覧ください

加悦谷高校

検索

宮津天橋高校

検索



京都府立
加悦谷
高等学校



京都府立
宮津天橋
高等学校
加悦谷学舎

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話：0772-42-2171

FAX：0772-42-2172

電子メール：

kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

高校HPの
QRコード⇒

